

中村工業株式会社

■平成24年度テーマ

バーコード導入による工程進捗管理及び原価管理システムの構築

■平成24年度概要

当社は多品種をラインレス方式で製造しており、客先ニーズの短納期化を進める上で、仕掛け工程を把握することがネックとなっている。作業日報をバーコード化することにより、即座に工程を把握できる。また、それぞれの工程の加工時間も把握でき、詳細な原価管理も可能となる。

■平成24年度分類

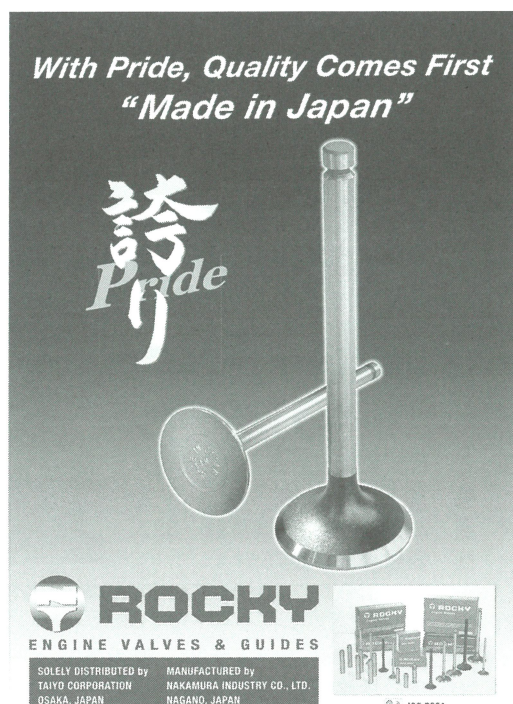
＜事業類型＞ 設備投資のみ

＜競争力強化の形態＞ 小口化・短納期化型

＜22分野技術＞ 切削加工

■事業の概要と成果

工程の把握方法として行っていた作業日報記入（手入力）に代わり、各加工開始時、終了時にバーコードを用いて簡易に入力することにより、タイムリーな工程進捗を注文番号毎に把握できるようになった。また、一部進捗遅れ部品があっても判別フォローが可能となり、お客様の納期に対応することができるようになった。



好機逸すべからず

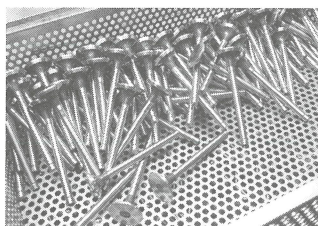
「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

中村工業株式会社（上田市）

国内でも数少ない専門メーカーとして、
OEMと自社ブランドでエンジンバルブを世界に供給。

まったく違う市場を相手に持つのが強み

自動車などのエンジンのシリンダーヘッドに搭載され、燃焼室を密閉する役目を果たす、エンジンバルブ。エンジンには欠くことのできない最重要部品



月に数百種類のエンジンバルブを生産

のひとつであり、あらゆる過酷な条件に耐えて走行する耐久性が求められます。それだけに製造には高い技術力が求められています。

中村工業は、日本でも数少ないエンジンバルブ専門メーカーとして、乗用車、トラック、農業機械、発電機などに搭載されるエンジンバルブを製造しています。

同社が手がける市場の1つは、国内大手エンジンバルブメーカー4社のうち2社へのOEM供給。小ロット製品に特化し、機械を効率的に動かすことで月産数百種類という多品種少量生産を実現しています。

そしてもう1つは、海外のアフターマーケット。中古エンジン補修用のエンジンバルブを製造し、東南アジア、中東、中南米などに自社ブランド「N-Rocky」製品として輸出しています。最低ロット300本から対応し、OEM供給と合わせて月間60万本弱の生産をしています。

同業者の廃業が続く中、中村陽介社長は生き残り戦略について次のように話します。

「大手メーカーへのOEM供給とアフターマーケットの売上げが半々。まったく違う市場を相手に持っていることで、国内需要が冷え込めばアフターマーケットの比重を高め、反対に国内需要が高まればアフターマーケットの納期を延ばして調整する。それができるのが強みです。もっとも、リーマンショックでは非常に厳しい状況を経験しましたが」

バーコード導入で進捗と原価を管理

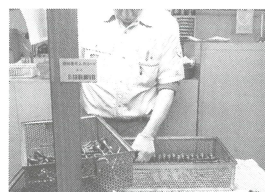
担当者がメーカーから来た図面を自分で理解、判断して段取りをし、機械のクセを知り尽くしたスペシャリストが仕上げる、手づくり感覚が

同社の特徴。「技術者それぞれが高い技術を持っている」と中村社長が胸を張るように、その技術力には定評があります。もっとも長年課題だったのが、製品ごと、工程ごとの作業時間、経費、利益率などが正確に把握できていないということでした。

そこで、ものづくり補助金を活用して取り組んだのが「バーコード導入による工程進捗管理及び原価管理システム」の構築。それぞれの製品について、各工程の作業ごとに現場でバーコードをチェックし、進捗と原価、日報の管理をリアルタイムに行うシステムで

す。2014年5月から本格稼働しており、中村社長は「生産の効率化、利益率向上をこれでぜひ実現したい」と期待しています。

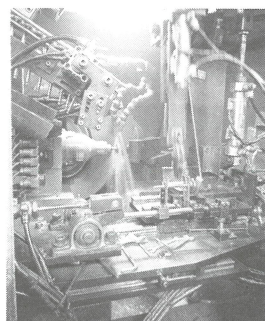
同社社員はパート・派遣を含めて75人。近年毎年のように新卒社員の採用が続く「だいぶ若返りました」。それだけに人材教育が課題となっており、現場での技術の継承はもとより、外部教育機関等による社会人研修なども積極的に取り入れています。



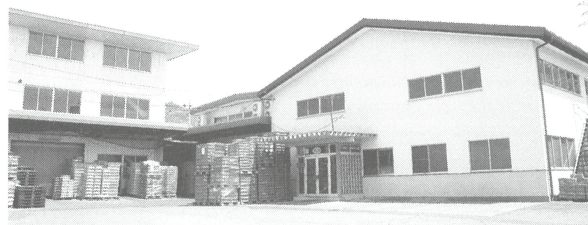
現場でバーコードに入力



出荷前の検査



製造風景



中村工業株式会社

代表者 代表取締役 中村陽介
創業 1943（昭和18）年8月
資本金 1,500万円 従業員数 65人
本社 上田市上田1558
TEL.0268-22-0280 FAX.0268-27-8371
事業内容 エンジンバルブの製造

